



## 令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年8月10日

上場会社名 新潟交通株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9017 URL <https://www.niigata-kotsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星野 佳人  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高山 徹 TEL (025)246-6327  
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績（令和5年4月1日～令和5年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	4,607	8.9	252	△40.2	186	△49.7	272	△13.4
5年3月期第1四半期	4,230	26.4	421	—	369	—	314	—

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 275百万円 (△8.6%) 5年3月期第1四半期 301百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	70.90	—
5年3月期第1四半期	81.90	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第1四半期	56,517	17,261	30.5	4,493.24
5年3月期	56,789	16,985	29.9	4,421.41

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 17,261百万円 5年3月期 16,985百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和6年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 令和6年3月期の連結業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	3.0	900	△34.4	500	△48.5	350	△61.0	91.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期1Q	3,864,000株	5年3月期	3,864,000株
② 期末自己株式数	6年3月期1Q	22,384株	5年3月期	22,380株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期1Q	3,841,618株	5年3月期1Q	3,841,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行される等、社会経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

こうした事業環境の中、当社グループは全社を挙げて営業活動を積極的に展開し、事業基盤の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,607百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は252百万円（前年同期比40.2%減）、経常利益は186百万円（前年同期比49.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は272百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

### ○運輸事業

一般乗合バス部門では、令和5年4月1日に需給バランスを考慮したダイヤ改正を行い輸送の効率化を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い外出需要の回復に加えて、バスをより身近に感じてもらうためにキッズ向け特設webサイト「りゅーとランド」を新たに開設し利用促進に努めたこと等により、一般乗合運賃収入は前年同期比増収となりましたが、運行補助金が減少したことにより一般乗合バス部門全体では、前年同期比減収となりました。

高速バス部門では、県内高速路線バスにおいて、県内高速事業者と共同で行うクレジットカードを利用した「タッチ決済」の実証導入に参画し、利便性の向上に努めたこと等により、高速バス部門全体では前年同期比増収となりました。

貸切バス部門では、遠足、修学旅行を主とした学校関連の貸切バス受注に加え、バスツアーの受注が増加したこと等により前年同期比増収となりました。

この結果、運輸事業の売上高は1,754百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

### ○不動産事業

万代シティでは、当社が運営管理するビルボードプレイスにおいて4月に県内初出店となる新店舗を誘致したほか、11月に万代シティ生誕50周年を迎えるにあたり販売促進キャンペーンを開始し、集客や街区の価値を高める催事・イベントを企画実行する等、賑わい創出に努めたことにより賃料収入は前年同期比増収となりました。

この結果、不動産事業の売上高は696百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

### ○商品販売事業

観光土産品卸売部門では、人流回復に伴いゴールデンウィークを中心として観光需要が回復したことや県内高速SA限定商品が好調に推移したこと等により、主力の土産卸売販売が増加し、前年同期比増収となりました。

この結果、商品販売事業の売上高は580百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

### ○旅行事業

旅行業では、教育旅行において中学校・小学校の修学旅行受注校数の増加や大学スクールバスや各種大会の平常化に伴い受注が増加したことに加えて、一般手配旅行において新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う需要回復もあり、前年同期比増収となりました。

この結果、旅行事業の売上高は735百万円（前年同期比61.9%増）となりました。

### ○旅館事業

旅館事業では、新潟市内の「万代シルバーホテル」、佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」において、催事団体客、募集ツアー等の受入や回復傾向にあるインバウンド需要の獲得に努めたことにより、前年同期比増収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は403百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

### ○その他事業

広告代理業においては、自社広告媒体による広告収入は堅調に推移しましたが、前年度受注した新潟市が発行する「地域のお店応援商品券」事業の剥落もあり、前年同期比減収となりました。

航空代理業においては、チャーター便の運航等により空港業務受託手数料が増加したことを受け、前年同期比増収となりました。

清掃・設備・環境業においては、清掃部門での定期物件の中止や環境部門でのスポット業務の機会損失やリサイクル販売の価格の低下等により、前年同期比減収となりました。

この結果、その他事業全体の売上高は436百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金や有形固定資産の減少などにより、前期末に比べ272百万円減少し、56,517百万円となりました。

負債は、有利子負債の減少などにより、前期末に比べ548百万円減少し、39,256百万円となりました。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより、前期末に比べ275百万円増加し、17,261百万円となり、自己資本比率は30.5%となっております。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、概ね計画通りに推移しております。従って、本年5月15日公表の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,493,727	2,416,879
受取手形、売掛金及び契約資産	1,224,064	1,343,158
商品及び製品	182,463	213,404
原材料及び貯蔵品	127,448	129,643
その他	419,998	300,599
貸倒引当金	△3,140	△3,043
流動資産合計	4,444,560	4,400,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,183,558	12,007,242
土地	36,812,757	36,797,837
その他(純額)	1,505,278	1,421,685
有形固定資産合計	50,501,594	50,226,765
無形固定資産	348,271	350,786
投資その他の資産	1,495,298	1,539,128
固定資産合計	52,345,164	52,116,680
資産合計	56,789,725	56,517,322
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,354	914,031
短期借入金	6,267,953	6,292,389
未払法人税等	219,558	27,903
賞与引当金	152,006	81,800
その他	2,773,843	2,849,648
流動負債合計	10,320,716	10,165,772
固定負債		
社債	3,650,000	3,650,000
長期借入金	18,901,838	18,571,562
再評価に係る繰延税金負債	4,013,617	4,009,693
役員退職慰労引当金	206,406	201,074
退職給付に係る負債	467,264	454,642
その他	2,244,516	2,203,274
固定負債合計	29,483,643	29,090,247
負債合計	39,804,359	39,256,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,800	4,220,800
資本剰余金	2,946,600	2,946,600
利益剰余金	1,686,422	1,967,747
自己株式	△38,856	△38,864
株主資本合計	8,814,967	9,096,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,701	9,504
土地再評価差額金	8,210,646	8,201,703
退職給付に係る調整累計額	△45,950	△46,190
その他の包括利益累計額合計	8,170,397	8,165,017
純資産合計	16,985,365	17,261,301
負債純資産合計	56,789,725	56,517,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	4,230,394	4,607,100
売上原価	2,881,507	3,326,141
売上総利益	1,348,886	1,280,959
販売費及び一般管理費	927,607	1,028,889
営業利益	421,279	252,069
営業外収益		
受取利息	31	21
受取配当金	10,605	13,394
雇用調整助成金	21,903	—
その他	6,550	14,302
営業外収益合計	39,091	27,717
営業外費用		
支払利息	84,100	88,632
持分法による投資損失	517	684
その他	5,887	4,410
営業外費用合計	90,504	93,728
経常利益	369,866	186,059
特別利益		
固定資産売却益	854	706
補助金収入	42,843	38,759
負担金収入	—	18,898
特別利益合計	43,697	58,364
特別損失		
固定資産売却損	169	4,785
固定資産除却損	14,140	4,401
その他	7,819	841
特別損失合計	22,130	10,029
税金等調整前四半期純利益	391,432	234,394
法人税、住民税及び事業税	39,604	12,003
法人税等調整額	37,176	△49,990
法人税等合計	76,780	△37,987
四半期純利益	314,652	272,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,652	272,382



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	314,652	272,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	3,802
繰延ヘッジ損益	△12,243	—
退職給付に係る調整額	△49	△240
その他の包括利益合計	△12,712	3,562
四半期包括利益	301,939	275,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,939	275,944
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自令和4年4月1日至令和4年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸事業	不動産事業	商品販売事業	旅行事業	旅館事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,873	686	450	454	291	3,756	473	4,230	—	4,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	99	8	92	5	216	103	319	△319	—
計	1,883	786	459	546	297	3,972	576	4,549	△319	4,230
セグメント利益又は 損失(△)	43	294	14	△7	△24	321	99	421	0	421

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、清掃・設備・環境業、広告代理業、航空代理業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自令和5年4月1日至令和5年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸事業	不動産事業	商品販売事 業	旅行事業	旅館事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,754	696	580	735	403	4,171	436	4,607	—	4,607
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	100	10	125	6	250	103	354	△354	—
計	1,762	797	590	860	409	4,421	539	4,961	△354	4,607
セグメント利益又は 損失(△)	△180	302	45	7	14	190	61	251	0	252

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、清掃・設備・環境業、  
広告代理業、航空代理業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。